

2022 年 1 0 月 9 日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11 時からは録画を視聴できます。

10 月 9 日 聖日礼拝

前 奏 招 詞 ハバクク書 2 章 20 節
「主は、その聖なる宮におられる。全地
よ、主の御前に静まれ。」アーメン

会衆賛美 聖歌 1 3 4 (1 ～ 3 節)

会衆賛美 イエスの血潮で (1 回)

主の祈り 詩篇 1 1 9 篇 1 ～ 8 節

交 読 詩篇 1 1 9 篇 1 ～ 8 節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 出エジプト記

19 章 1 ～ 6 節

20 章 1 ～ 17 節

説 教

共同体に与えられた律法 荻野泰弘牧師

会衆賛美 聖歌 5 7 7 (1、2 節)

献 金 聖歌 3 7 6

頌 栄 聖歌 3 7 6

祝 禱

報告

後 奏 感謝祈禱

■聖歌 1 3 4 「おおくのかむり」(1 ～ 3 節)

- ①おおくのかむり いざささげよこひつじは座せり 高き御座に
わがたましい うたえたかく みがわりとなりし 主なるイエスを
- ②おおくのかむり いざささげよ はじめよりありし 神なる主に
君はわれの うき悩みを つぶさに知れたもう 神にぞます
- ③おおくのかむり いざささげよ たたかいに たけき 勝利の主に
墓も よみも やぶれはてぬ まことのいのちは ただ主にあり

■「イエスの血潮で」(★→※→★の順序で歌う)

★イエスの血潮で 救われ 癒 (いや) され 天の御国へと 導かれる
イエスの血潮で 赦され 満たされ 尊い その血潮で

※天の父と こひつじイエス ひざまずき歌う 聖なる御名
全地は歌う あがないの歌 栄光は主にあれ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 119 篇 1～8 節

- 1 幸いなことよ
全き（まったき）道を行く人々
主のみおしえに歩む人々。
- 2 幸いなことよ
主のさとしを守り
心を尽くして主を求める人々。
- 3 まことに 彼らは不正を行わず
主の道を歩みます。
- 4 あなたは戒めを仰せつけられました。
それらを堅く守るように。
- 5 どうか 私の道が堅くされますように。
あなたのおきてを守るために。
- 6 そうすれば あなたのすべての仰せを見て
私は恥じることがありません。
- 7 あなたの義のさばきを学ぶとき
私は直ぐな心であなたに感謝します。
- 8 私はあなたのおきてを守ります。
どうか 私を見捨てないでください。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 出エジプト記 19章1～6節、20章1～17節

出エジプト記 19章1～6節

- 1 エジプトの地を出たイスラエルの子らは、第三の新月の日にシナイの荒野に入った。
- 2 彼らはレフィディムを旅立って、シナイの荒野に入り、その荒野で宿営した。イスラエルはそこで、山を前に宿営した。
- 3 モーセが神のみもとに上って行くと、主が山から彼を呼んで言われた。「あなたは、こうヤコブの家に言い、イスラエルの子らに告げよ。
- 4 『あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に乗せて、わたしのもとに連れて来たことを見た。
- 5 今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。
- 6 あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。』これが、イスラエルの子らにあなたが語るべきことばである。」

出エジプト記 20章1～17節

- 1 それから神は次のすべてのことばを告げられた。
- 2 「わたしは、あなたをエジプトの地、奴隸の家から導き出したあなたの神、主である。
- 3 あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。
- 4 あなたは自分のために偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、いかなる形をも造ってはならない。
- 5 それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたみの神。わたしを憎む者には父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、
- 6 わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまで施すからである。
- 7 あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない。主は、主の名をみだりに口にする者を罰せずにはおかない。

- 8 安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。
- 9 六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。
- 10 七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはいかなる仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子や娘も、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、またあなたの町囲みの中にいる寄留者も。
- 11 それは主が六日間で、天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造り、七日目に休んだからである。それゆえ、主は安息日を祝福し、これを聖なるものとした。
- 12 あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。
- 13 殺してはならない。
- 14 姦淫してはならない。
- 15 盗んではならない。
- 16 あなたの隣人について、偽りの証言をしてはならない。
- 17 あなたの隣人の家を欲してはならない。あなたの隣人の妻、男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを欲してはならない。」

■聖歌 5 7 7 「聖なるものと」(1、2 節)

- ①聖なる者と なさんとて 主 われらをば召したまえば
聖なるものを追い求めて 俗(ぞく)なるものと 手をば切らん
- ②聖なる者と ならんため 聖なる君の言う言葉を
信じて学び実行せば 大御心(おおみこころ)に沿うことを得(え)ん

■頌栄 聖歌 3 7 6 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン